

くらしき まち歩き さと歩き マップ



倉敷市
児島地区
下津井地区

作成：下津井地区愛育委員会
 協力：下津井地区小地域ケア会議（わしゅう下津井東地区
 社会福祉協議会、港町下津井西地区社会福祉協議会、
 下津井地区栄養改善協議会、下津井地区民生委員会、
 下津井地区婦人会）下津井地区町内会（片原、田之
 浦、大島、古下津井、大室、吹上）
 発行：倉敷市（令和4年3月改訂）

下津井 歴史散策 再発見！

- 指定緊急避難場所
- ★ 届出避難所
- ▲ 一時避難所
- ▨ 地域で見つけた危険箇所



下津井城跡公園(県史跡)
 慶長8年(1603)初代城主池田河内守長政により
 下津井城として整備、慶長11年(1606)完成
 寛永16年(1639)廃城
 石垣がその名残をとどめ、春には桜、秋には
 紅葉が美しい 瀬戸大橋、海の眺望がよい



祇園神社
 航海安全の神として信仰を集めている祇園神社は
 宝暦6年(1756)備後鞆の沼名前（ぬなくま）神社から勧請
 社名は明治3年に素盞鳴神社
 同21年に祇園神社と改めた 拜殿 本殿 御座船の模型
 北前船船主寄進の玉垣
 ウバメガシの森は県指定郷土記念物にもなっている



大谷壽文著『歴史のまち下津井』を参考
 引用させていただきました



久須美大師堂
 大宝寺奥の院
 寛政11年(1800)建立



鷺羽山より
 瀬戸大橋

記載されている避難場所等の情報については作成時点(令和3年8月)
 のものであり、最新の情報は市ホームページをご確認ください。



下津井駅跡
 在りし日の下電車両

